

ぎふ農研NEWS

一般社団法人ぎふクリーン農業研究センター

今回は、食味分析についてと、残留農薬分析の受付から報告までの流れをお届けします。

食味分析について

まず、食味分析について紹介するよ！主に2つの測定を行っているよ～

食味値

米に近赤外線を当て、アミロース、タンパク質、水分、脂肪酸度を計測し、食味値(美味しさ)を測定しています。

各項目を計測すると、次のことが分かるよ！

★食味値：「アミロース」「タンパク質」「水分」

「脂肪酸度」の4成分の含有量で食味値が決まり、100点満点で数値が高いほど美味しいとされています。日本産では70～75点が標準。

★アミロース(%)：低い数値ほど粘りがある。18.5～20%が標準。

★タンパク質(%)：低い数値ほどふっくら炊きあがる。7.0～8.0%が標準。

★水分(%)：基準の範囲内(約14～15%)で高い数値ほど良い。

★脂肪酸度(mg/100g)：高いほど古米化が進んでいる。10.0mg/100g以下が良い。



米粒判別測定

米の写真を撮り、整粒、未熟粒、被害粒、死米、着色粒、胴割粒の6種類に分類し、見た目の測定をしています。

下の写真のように分類されるよ！



出典：農林水産省Webサイト<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/kensa/kome/k_kikaku/k_kaisetsu/>

整粒が多いほど、見た目がきれいで、等級が高くなるよ～

野菜の花

今回は根菜類の花を撮りました。

上段はニンジンの花。ニンジンはセリ科で、小さな白い花が円盤状にたくさん集まって咲きます。銀河系が集まったようなきれいな花ですね。

下段はゴボウの花。キク科でアザミの花に似ていますね。花は無数の釣り針状の棘に覆われており、枯れると衣服に付いて大変です。

どちらも花が咲く前に収穫しますので、花を見る機会は少ないと思います。

撮影：平工理事長

残留農薬分析の受付から報告まで

次は、残留農薬分析の受付から報告までの流れを説明するよ！
分析方法及び検体搬入時の注意事項についてはVol. 1にてご紹介済みです。



受付

当日

- ◇ 搬入された検体の確認（重量・個数・状態）
- ◇ 搬入された資料の確認（依頼書・生産履歴・チェックシート）

【依頼書作成時の注意点】

- ・生産者名：生産履歴と一致していない場合があります。
 - ・採取圃場住所：生産者の自宅住所が記入されている場合があります。
 - ・圃場からの採取月日：検体を圃場から採取した日をご記入願います。
※イモ類・柑橘類・山椒等の貯蔵乾燥する作物は、貯蔵乾燥前（収穫日）の日にちをご記入願います。
 - ・試料番号：依頼書とチェックシートの両方に同じ番号をご記入願います。
- ◇ 不備によって受付できない場合があります。



分析

約3~5営業日
必要

- ◇ 受付後、前処理を始めます。半~1日かけて前処理を行い（分析検体数により変動あり）、測定を行います。
- ◇ 翌日、測定し終わったデータの解析を行い、報告書を作成します。通常受付から報告書作成まで約2営業日程度かかり、3営業日目に報告書を提出しております。

※以下の場合には、3営業日以上かかることがあります。

- ・データ解析にて、高濃度の農薬が検出された場合
→前処理した液を薄めて、もう一度測定を行います。
- ・データ解析にて、基準値の超過が疑わしい場合
→確認のため、ストックしてある検体をもう一度前処理から分析します。
- ・その週にご依頼が多かった場合
→検査できるのは1日当たり約16検体です。原則としてお持ち込みいただいた順に分析するため、ご依頼が多い週は持ち込みが遅いほど分析開始が遅くなり、3営業日以上かかることとなります。



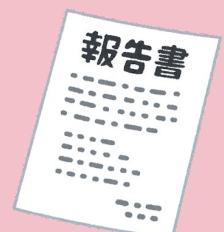
報告

【JA関係者様の場合】

- ◇ JAへ報告書を発行する前に、JA全農岐阜営農対策課へ報告書を持ち込みます。
- ◇ JA全農岐阜にて生産履歴等のチェックを行い、不備不足事項があった場合はJAに問い合わせ等が行われるため、報告書が各JA本店へ到着するまでには若干日にちがかかります。

【その他ご依頼者様の場合】

- ◇ 報告書発行日~翌日に郵送させていただきます。



三二知識

なぜ農薬を使うの？

農薬を使う一番の目的は、農作物の収穫量を保ち、質の良い農作物を安定して供給できるようにすることです。



農作物の生産において病害虫や雑草などを取り除くことはとても重要で、その作業にかかる時間や労働力は農薬を使うことで大きく減らすことができます。農作物の収穫量の減少や品質の低下を防ぐためにも、少ない労働力で一定の効果が得られる農薬の存在はとても大事になります。

また、安定した品質と収穫量を確保することで農業経営を安定させる等の効果を生み出しており、結果として、食糧自給率の向上にも貢献していると言えます。

農薬の登録と安全性

農薬が登録される(使用できる)までには厳しい審査があります。開発から登録まで10年前後の時間をかけ、病害虫や雑草に対しての効果だけではなく、人はもちろん環境などに影響をおよぼさないか、数多くの試験が行われます。

また、農薬登録の有効期限は3年で、3年ごとに再登録しなければ、農薬として認められません。再登録時には安全性などについての新たな試験を求められることもあります。

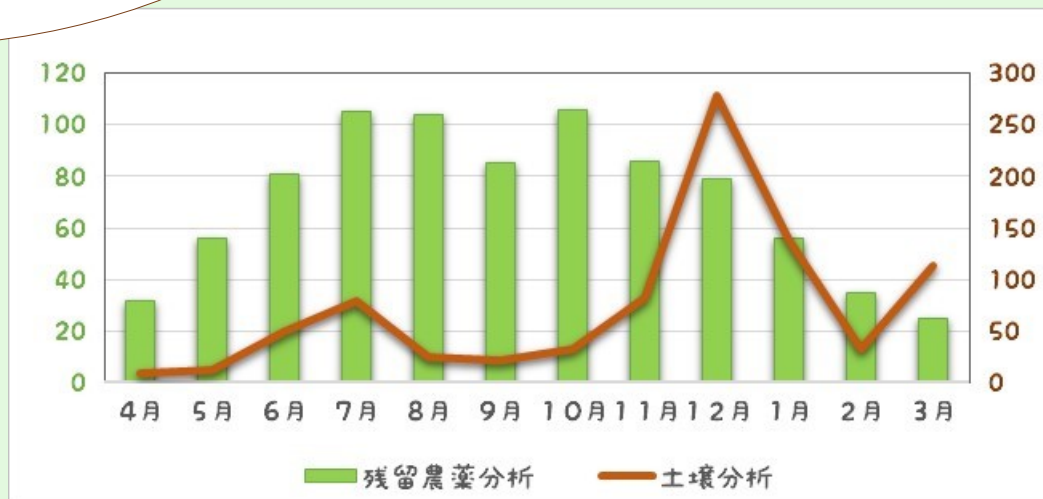
このように、農薬は厳しい審査、試験をすべてクリアしなければ登録されず、世の中に出回ることはありません。そのため、登録され市販されている農薬はラベルなどに記載されている使用方法をキチンと守って使用することで十分に高い安全性が確保できます。



2020年度依頼数 月別グラフ

残留農薬分析と土壌分析の依頼数を月別にまとめてみたよ。

夏場は残留農薬の分析が多く、冬に向けて土壌分析が多くなっていくよ。



特に12月は残留農薬分析と土壌分析がどちらも多い月なので、一年の中で最も忙しい月なの。

2月、3月は比較的に試料の数が少ないため、次年度に向けて分析法の検討などを行っているよ。



職員インタビュー

◇ 山田 季成 ◇
＜事務局長＞

～今はまっている事はなんですか？～

もう40年以上はまっていること、それは「鮎釣り」です。

私は小さい頃から魚釣りが好きで、特にヘラブナ釣りにのめり込んでいました。

ある日、鮎の友釣りをやってみないかと誘われましたが、「そんな向こうから引っ掛かってくる釣りは面白くないやろ」と拒んでおりました。「まあ、1回やってみい」と云われ、長良川で竿を持たせてもらい1時間くらいしてからでしたでしょうか、「ドカン」と体の芯まで震えるアタリが伝わりました。

忘れもしない24歳の夏でした。

それからというもの、夏であろうが冬であろうが、鮎のことが頭から離れなくなり、30歳を過ぎた頃から「鮎釣り大会」にもよく参加し、1匹でも多く釣りたいとスポーツ感覚でのめり込みました。

36歳の時、初めて地区予選を勝ち上がり、全国大会に出場することができましたが、全く歯が立ちませんでした。

今は競う釣りではなく楽しむ釣りですが、1匹1匹自分の中ではドラマがあり、どれだけ釣っても全然飽きません。

鮎釣りには「魅力」ではなく「魔力」があります。人生を狂わせた人もいます。

しかし、鮎釣りが多くの仲間を作ってくれたし、仕事でも助けてくれました。皆さんには理解してもらえないと思いますが、私にとって鮎は恋人であり、宝物であり、人生を支えてくれた友でもあります。来夏も美鮎に会えるかな！



2021年夏in長良川



トピックス

① 永年勤続の理事に感謝状贈呈

通算10年11ヶ月にわたり理事長・理事・監事を務めていただきました桑田博之様が、この令和3年6月に理事を退任されました。長きに亘るセンターへのご尽力に敬意を表し、感謝状を贈呈させていただきました。ありがとうございました。



② 職場研修会の開催

今年度より、当センターでは偶数月の第一月曜日に「職場研修会」を開催しております。最初は理事長が講師となり体験を話され、大変参考になりました。今後は職員も講師となる事によって、職務能力の向上を目指し当センター業務の発展につながるよう努力していきます。

編集後記

「ぎふ農研NEWS」をお読みいただきありがとうございます。

秋も深まり冷気を一層感じる季節になってきましたね。前号より「職員インタビュー」を掲載してきましたが、趣味について語る目はとても輝いて生き生きしていて、こだわりを持って趣味を楽しむ事をとても羨ましく思いました。人生100年時代、私もこれだ！と言える何かを見つけられたらと感じました。

次号は5月発行予定です。お楽しみに！(S.I)

一般社団法人
ぎふクリーン農業研究センター

〒500-8367

岐阜市宇佐南4丁目11番5号

TEL : 058-276-5072 FAX : 058-276-5074

URL : <https://www.gifu-cal.or.jp>